

令和
5年度

各委員会の 年間調査テーマ

半田市議会では、各委員会が目的意識をもって調査テーマを設定し、課題の解決に向けて調査・研究を1年間行い、市に対して提言をしています。今年度の調査テーマについては以下のとおりです。

議会運営委員会

「半田市議会基本条例」の検証について

平成23年3月に半田市議会では、議員としての責務を自覚すると共に、市民の負託により応える議会を目指すため、「半田市議会基本条例」を制定しました。全部で9章23条に渡り、議員や議会として活動を行うための規範並びに基本方針を定めています。

基本条例の第22条2において「議会は、この条例の目的が達成されているかどうかを議会運営委員会において検証する」としています。この条例を制定した後、議会の進め方や議員の顔ぶれ、社会情勢などが変わってきています。そこで今期の委員会にて「半田市議会基本条例」の検証を行うことにしました。

基本条例の項目ごとに目的の達成状況など現状を把握し、問題や疑問などがある場合は解決策・改善策を検討し、その結果によっては修正や改正を考えています。現在、そして未来を見据えた「半田市議会基本条例」とするため、調査研究してまいります。

総務委員会

「安全で安心できるすみよし街づくりについて」

昨今、全国的に子どもを狙った犯罪や高齢者を中心に振り込め詐欺などの被害が相次いでいます。また、自転車盗、侵入窃盗、車上ねらいなど市民に身近なところで犯罪が発生しています。他方では、高齢化の進行、一人暮らし世帯の増加等により、犯罪に狙われやすい人や世帯が増加する一方で、地域社会の人間関係の希薄化や地域活動参加者の高齢化等により、地域の防犯力の低下が懸念されています。このような状況のもと、防犯に活用できる多様な技術開発や改良も進んでおり、地域社会への実装、普及拡大が期待されています。

半田市においても、市民の皆さんが犯罪に巻き込まれることがなく誰もが安心安全に暮らせるよう、地域の防犯力強化の取組みを調査研究します。

文教厚生委員会

「介護人材の確保と介護サービスの最適化の取組み強化」

2040年には日本の高齢者人口がピークに達し、労働力不足の深刻化、社会保障の崩壊の危機、介護離職者の増加などさまざまな問題が発生することが予測されています。団塊の世代が75歳を迎える2025年を目前に控えた今、介護人材の確保と最適な介護サービスの提供により、自立支援と重度化防止につなげ、介護給付費を抑える施策が必要です。

当委員会では、半田市においての高齢者の自立支援と重度化防止の環境を整備し、持続可能な介護保険制度を維持するため、介護支援専門員（ケアマネジャー）等の介護人材の確保の施策やAIを活用したケアマネジメントの質の向上と業務効率化による介護サービスの最適化、介護予防の新たな担い手としての民間事業者との連携による高齢者の生活支援サービスの提供など、先進地の取組みを調査研究します。

建設産業委員会

「6次産業化の拠点整備について」

半田市の農業分野における継続した発展のためには、農業者それぞれの所得向上に向けた生産性の改善や商品の高付加価値化、また高齢化による耕作放棄への対策、事業継承や新規就農など人的支援も必要です。その上で、1次産業としての農林漁業を、2次産業としての製造業、3次産業としての小売業等の事業と総合的に一体的な推進を図り、半田市を含む知多半島の豊かな地域資源に新たな付加価値を生み出す6次産業が必要で、しかし、6次産業化は1事業者では難しく、各事業者の連携や面でのサポート、また消費者と事業者を有機的に結びつけるプラットフォームとなる拠点整備が不可欠です。

当委員会では、昨年度より外部人材として採用している6次産業化プロジェクトリーダーと共に、中長期的に整備が必要である拠点整備について調査研究してまいります。